

自然放射線  
(日本)宇宙から  
0.3mSv食物から  
0.99mSv空気中の  
ラドンから  
0.48mSv大地から  
0.33mSv自然放射線による年間線量 (日本平均) 2.1mSv  
自然放射線による年間線量 (世界平均) 2.4mSv東京～ニューヨーク  
航空機旅行 (往復) 0.11～  
0.16mSv人工  
放射線胸部CT検査  
(1回) 2.4～  
12.9mSv

胸部X線検査 (1回) 0.06mSv

mSv : ミリシーベルト

出典 : 国連科学委員会 (UNSCEAR) 2008年報告、  
原子力安全研究協会「新สิ่งแวดล้อม放射線 (平成23年)」、ICRP103 他より作成

日常生活をする中で、私たちは知らず知らずのうちに放射線を受けています。

宇宙から、そして大地から受ける自然放射線による外部被ばくや、食物や空気中のラドン等、自然由来の放射性物質から受ける内部被ばくは、合計すると年間で世界平均では2.4ミリシーベルト、日本平均では2.1ミリシーベルトになります(上巻P60、「年間当たりの被ばく線量の比較」)。

また日本では放射線検査等で受ける医療被ばくの割合が大きいことが知られています。これは一回の検査当たりの被ばく量が多いCT検査が広く普及していることや胃がん検診で上部消化管検査が行われているためと考えられています。

本資料への収録日 : 平成 25 年 3 月 31 日

改訂日 : 平成 27 年 3 月 31 日